

## 解放直後・在日済州島出身者の生活史調査（8・下）

—— 金春海さんへのインタビュー記録 ——

藤永 壯／高 正子／伊地知紀子／鄭 雅英／皇甫佳英  
高村竜平／村上尚子／福本 拓／高 誠晩

A Survey of the Life Histories of Resident Koreans in Japan  
from Jeju Island in the Immediate Postwar Period (8) — Part II —  
— An Interview with KIM Chunhae —

FUJINAGA Takeshi, KO Jeongja, IJICHI Noriko, CHUNG Ahyoung  
HWANGBO Kayoung, TAKAMURA Ryohei, MURAKAMI Naoko  
FUKUMOTO Taku, KOH Sungman

### 4・3事件の体験（続）

《村の様子》

——そのころに城を作りました？ <sup>ソン</sup>성담\*8？

金：そうしたから村ごとに城，石で四角したんや [村を囲った] ……。暴徒たちが入って来られないように。それでもその垣根を越えて入ってくる。牛もさらっていくし。牛をさらって行って，自分たちでつぶして食べて。

——<sup>ウォルピョン</sup>월뽕 <sup>ソン</sup>성積みました？

金：城，ある。アイゴ，城を作るのも大変だった。城……（笑）。

---

平成22年2月28日 原稿受理  
大阪産業大学 人間環境学部

——おばあさん<sup>ハルモニ</sup> [春海さん] もやりました？

金：やったよ。

——夜に見張りに立ったりしましたか？

金：見張りにも立ったことある。見張りに、若い姉ちゃんら見張りに立たすねん。交代にな、  
晩なったら。恐いもん。近所の月坪<sup>ウォルビョン</sup>の子が18歳か、[山の人に] がしっと捕まられえて、  
城郭のほうへいきなり放り投げられて。濟州島いっぱいおるやん、山[の]暴徒たち。[山  
の人に] 捕まえられて1カ月間いて。一目散にあの子も夜中に逃げ[出し]て、林の中へ、  
もうただ道も何もなくてひたすら南の方に向かって逃げて来たんだって。アイゴ、かわ  
いそうだった。

——なんで若い女の人を見張りに立たせたんですか？

金：よう働くから違う？

——男の人じゃダメだったんですか？

金：男の人も連れて行くやん。男も見張りする。そこみな団長おるねん。男も回ってくれるしな、夜中な。何かあるかなあ思って。

——民保団<sup>ミンボダン</sup> (⑦-⑦\*) という組織ありました？

金：聞いたことないな。

——若い人たちがデモをしたとか、そういうことはありませんでしたか？

金：そんなことはなかったね。そんなん怖いで、デモでけへん [できない]。北も怖い、  
南も怖い。誰がデモつくりますの。そんなん一人、二人でできるものでもないし。とに  
かくみんな怖がって。話にでも聞くなという噂あった。

——3・1節の記念の集まり<sup>\*9</sup>があったとか知らないですか？

金：知らなかった。

——4・3事件<sup>ササム サコン</sup>が起きる前の村の様子はどうでしたか？

金：別に何もなかったけど。やっぱりその点かな、こそこそ話す人もいたけど。そんな話  
は耳に入ってこない。そんな……内緒話があるからやられたん違いますか。そう思うね

ん、うちら。

——生活が苦しくなったとか、そういうことはありませんでしたか？物の値段が上がったとか。

金：そんなことはないけど。済州島の人は、貧しい人たちは働いて、もらって食べて……。

——周りが殺されたり、危ないと思うようになったのは選挙からしばらく経ってからですか？

金：そうそう。

——選挙の時はまだ旦那さんいたんですか？

金：そうそう。

——寒くなってくるころに周りが殺されたりしたんですか？

金：そのころはそんなになかった。

——年明けてくらい？

金：そうそう。明けてもう、わあーって、暴徒と言って、山に行くと言って、山で捕まった人たちが下りてきたら、一人残らず法で殺すから下りて来られず……。でも山で食べるものなければ下りてきて盗んで行って。

——陸地〔朝鮮半島本土〕へ行くことは考えてみませんでしたか？日本だけ？

金：陸地は情が薄くて。行っても生活が難しい。自分の故郷の地に土地も多いし。その故郷で生きることで、生きられる。ここじゃなかったら、日本のどこか……。

## 家族それぞれの密航

《夫を追って》

——先に旦那さん<sup>ナムビョン</sup>が日本に来たんですね。

金：私のお母さんがおったから。主人の親は日本来たことない。私の親がこっちにおったから、旦那さん<sup>は</sup>早よ日本来さしたし、戦後にね。

——旦那さんを送った時はどうやって日本に送ったんですか？

金：旦那さんもヤミで来た。

——どこから？

金：<sup>フサン</sup>釜山からや。うちも<sup>フサン</sup>釜山出て、ひと月泊まった。小っちゃい船で晩なったら出てくるねん。<sup>チェジュド</sup>濟州島からな。

——<sup>チェジュド</sup>濟州島のどこから？

金：<sup>サンジ</sup>山地〔港〕とか。普通の港じゃないねん。みな密航やから。

——<sup>チェジュ</sup>濟州市まで行くんですか？

金：そう。うち来る時はな、1回船乗って来たのに、日本の対馬の港、分かれへんから、また<sup>フサン</sup>釜山に戻ったんや。10日ぐらい住んで、お月さん出てきたらまた乗って来て。うちは捕まれへんとそのまま来た。

——その時いくら払いました？

金：そやな、15万払ろたかな。

——ウォン？

金：円。その時は密航やから誰も言えへん。言うたらあかんねん。

——お金を持って乗ったんです？

金：そう。私は捕まれへんとな、きれいに対馬から日本の港に着いて。長崎の方や。日本に着いても、韓国から来る人隠してくれる人おるねん、旅館とか。金貰うねん。

——声掛けてくる。こっち来なさい言うて。日本人？

金：日本人。そこ来てひと晩泊ったら、「来た」言うたら妹がさっと来た。うち、従弟の弟と一緒に来た。

《拷問された従弟》

——前に拷問で殴られたって言ってた人？

金：そう。殴られて、病気なって今動かれへん。それでも軍隊にも行って来てる。めっちゃ殴られて殺されるか思うたら、生きて帰ってきた。

——その人はお母さん<sup>オモニ</sup> [春海さん] の伯父さん<sup>クンアボジ</sup>の……？

金：伯父さん<sup>クンアボジ</sup>の息子や。

——何でそんな拷問受けたんですか？

金：中文里<sup>チュンムン</sup>の呉동네<sup>ウットンネ</sup> [中山間部落]や言うてな。山に行ってきたと言って。山に登って、登っても隠れんと帰って来られへんねん、下りられへんねん、それが。みな囲んでるでしょ。番してるでしょ。どないして隠れて下りてきて、そこ [警察] 入って1カ月間殴られて。ほんで出てきて、自首<sup>チャス</sup>して軍隊行く\*10言うて、軍隊。海兵隊に行つて約3年生活して、出てきて何年も経たずに、「姉さん、姉さんが日本行く時には一緒に行く」と言っていた。それで私が「いつ行くか言うから、姉さんの家においで」と言つて、そしたら「[済州]市で会いましょう」と言うから、市へ行って会つた。済州市へ行って、そうして一緒に連れてきた。

——いくつだったんですか？ 拷問受けた時。

金：24、5歳の時、違う？

——結婚してなかつたんですか？

金：結婚してたよ。嫁さん<sup>チュンムン</sup>も中文におる。2回目こっち来て結婚させてん。

韓国から調査来たんですよ\*11。どういうふう<sup>チュンムン</sup>に拷問受けたんか言うて。「[調査に]来たけど、お金が出るか思つたら出ないな」言うて、嫁さん、うちに言うから、そんなん出るはずがないやんか言うて。

——その従弟に政府が聞きに来たのはいつですか？

金：2、3年前やな。「誰か知ってる人おるか」言うたら、「姉さん一人おる」言うから。本人に聞いてないけど、嫁さんに聞いて。嫁さん、うち言うた通り言うたわけや。

苦勞して苦勞して、ほんま。息子は今、言うねん。「お母ちゃん苦勞したこと書いて。本作るわ」。

《子どもたちの渡日》

——もう1度日本に行かれた時は、お子さん二人？ 連れて行かれた？

金：次女は置いてきて。お祖母ちゃんおったから置いてきて、1年あと、長女と長男と呼んで、来たら、引っかかって大村収容所<sup>(5)\*14</sup>に入って。苦労という苦労、全部やった。それで、妹が、私の妹がおったから、「親おれへんから、叔母ちゃんが」。嘘言うてね。「叔母ちゃん探しに来たから出してくれ」言うて、出してもらったんです。

——長女さんが1年くらい遅れて日本に来られたんですね。中学校出て。その時は誰が連れて来られたんですか？

金：誰も連れてきてない。二人だけで。長女と長男と二人だけで。

——どこから船に乗ったんですか？

金：釜山<sup>フサン</sup>から。釜山<sup>フサン</sup>から船乗って、途中で捕まって大村収容所へ1年間入れられて。うちら面会に行かれへんから。その時まで登録〔外国人登録証〕ないから。うちの妹がおったから。で、「お父ちゃんもおれへん、お母ちゃんもおれへん」。嘘言うて連れてきたわけや。

——妹さんは濟州島<sup>チェジュド</sup>、帰らずに？

金：あの子は帰ったことない。

——子どもを呼ぶ時にお母さん<sup>オモニ</sup>〔春海さん〕がどういうふうに連絡とったんですか？日本に来なさいって連絡したんですよね？ どうやって？

金：手紙出して。郵便局から手紙行ったよ。

——娘さん、手紙を受取って、行かなあかなくて分かって？

金：知ってる人に頼んで、「二人連れてきてくれ」言うて。連れてきてもらった。

——同じ村の人？

金：ううん、韓国の人。そういう人がおるねん。お金、そうやな、日本のお金で20万ぐらい要ったなあ。

——それはお姉ちゃん〔長女〕が何歳くらいの時ですか？

金：中学出たからなあ。15, 6歳, 違う？ 息子が〔小学校〕2年生の時。

——知ってる人が村まで迎えに行って, 済州の港から釜山<sup>プサン</sup>に行って。釜山<sup>プサン</sup>から船に乗って。

金：連れてきてから渡す。その時はな, そんな商売する人がおるねん。

——日本でその人に直接渡すんですか？

金：そう, 払わんでもいいのに先渡してもうてん(笑)。

——それは済州<sup>チェジュ</sup>の人ですか, 連れて来てくれるの？

金：主人に怒られてん, 子供ら呼んで。船, 穴あいて沈没してみな死んでしもうた, いう噂があつてん。主人に怒られてん。お前, 子供ら楽に住むのに, 日本呼びながら殺した, 言うて。毎日怒られた。

——大村収容所にいたということは, どうして分かったんですか？

金：知ってる子が。小っちゃい子。猪飼野に住んでる子がおつてん。あの子もお母さんと一緒に来ながら, お母さん〔だけ〕捕まえて帰つてもうて〔引き取り手がなく韓国へ送還された〕。お父さん, 〔日本で別の〕嫁さん<sup>もろ</sup>貫て住んでたから, お父さん〔がその子を大村収容所から猪飼野に〕連れてきて。その子に〔私の子どもが来ていることを聞いた〕。噂出ますよ, そういうことは。捕まえ〔られ〕て大村収容所入つたいう噂。なんぼでも噂は入ってきますよ。またそういう時は, ヤミ商売やる人いっぱいおつたしな。

——どんなヤミ商売ですか？

金：「連れて来たるわ」言うて。ヤミ商売や。誰にも言われへん。

## 再渡日後の生活

### 《外国人登録証をめぐる》

金：10年ほど, くにへ行って住んで日本来たたら, 疎開で, 大阪半分燃えたとき, 疎開でまた田舎帰って, 10年間住んでいたら, 「登録なかったら生まれへん」, そない言うもんやから, あら, こら困つたなあ, 「日本住んでから, 向こう10年間住んでました」言うても,

あんな「信用でけへん、言葉だけ。証明持っといで」。で、武田製薬行って証明もらって。ほな、ばっと判押してくれて、今まで住んでます。

——外国人登録証はいつごろつくられました？

金：1年後につくったから36の時違うか。

——すぐできた？

金：1年くらいで。

——会社に勤めてたという証明があったから？

金：日本に住んだという証明があったらすぐ出るから、「こういうふう<sup>に</sup>工場もしたんです」言うて、「疎開でくに帰ったんです」言うたら、「くに行ってきたんか、何で行くねん」言うて。「娘はここで生まれた」言うから。「ほんなら証明欲しい」言うから、北区探して行ってみたら、産婆さんちょうどおったから証明してもらおうて。「ああ、くに行つて来たの、何で行ったの」言うて。ほんで何も言わんとしてくれた。

——その時、誰かに手伝ってもらったりしたんですか？登録つくるとき。

金：うん、手伝ってもらってる。親戚の人に。

——日本に来られて名前はどうされてましたか？

金：日本の名前は、キノシタハルウミ [木下春海]。解放前はキノシタと言ってなかった。これは [済州島から] 出てきた後から。

——長男さんは、<sup>チェジュド</sup>済州島で生まれたんですかね？ 息子さんは<sup>チェジュ</sup>済州で生まれ？

金：息子？ 済州島で産んだけど、日本、2年生の時に日本来ました。そうして日本の学校を出た。来て最初は登録がないから、日本の学校入れてくれなくて、入れなかった。このときは朝鮮学校、大友町にありました。ここから近いところに。朝鮮学校で6年生を終えて、学校を1番で卒業した。そうしたら「卒業証書をあげない」と。

——中学校は建国学校にやると言ったから？

金：はい。くれなくてもいいと。小学校の卒業証書をもらわなかった、息子。「あなたのところの卒業証書もらわなくても、うちの息子は医大にやるつもりだから」。けんかして、

先生と。そうして東京 [の] 大学に入った。高校から日本の学校に入った。大学入って、電気科出て。いま職工が40人です。

—そんなに多いんです？

金：はい、大勢。社長です。まだ60歳だけど。だから電気学校出て、その会社に就職したら、その社長がとて素晴らしい人で、すごく仕事ができるし。韓国の人がその前にも来て就職させて、仕事30年間したんだけど、故郷に帰っていい会社に入ったから、[社長が息子に]「お前も故郷に行くつもりなのか」。[息子が]「行きません」と言うから、「ここで、そしたら自分の思い通り工場をつくって運営しなさい」と。「お金がないのにできません」と言ったら、お金……。

—なんという会社です？

金：今ね、キンデン。それで、お金3千万円、日本人の社長が銀行に担保を入れてくれて、そのお金を基盤にして、工場やりました。あれからずっと日本。今、日本に帰化してますねん。嫁さんも日本人やから。

—娘さん [長女] は？

金：東大阪で焼肉屋やっています。

—済州<sup>チェジュ</sup>にずっと次女は今もいてる？ 西帰浦<sup>ソギポ</sup>に？

金：うん、西帰浦。

《ガラスとヘップと》

—お母さん [春海<sup>オモニ</sup>さん] が [密航で日本に] 来る前、旦那さん日本で何やってたんです？

金：ガラス工場で働いてた。職人やから。

—その時もアンブル？ その時は何つくってたんですか？

金：その時は知らんなあ。リングルつくった言うてたけど。こんな注射瓶。[私の] 親と住みながら通っててん。大瀬町、うちのお母さんと住んでた。小路。今住んでるところ。昔は大瀬町。

——4・3になって、また日本に来て、その時はガラス工場に、仕事に行っていたんですか？  
それとも自分で？

金：自分でできない。お金ないのに。働きに行って弁当包んで通った。

——それは日本の人の工場ですか？ それとも濟州の人の？

金：濟州の人。

——月坪の人じゃないです？

金：違う。

——それが木田。木田という工場に旦那さんが通って？ 中崎町。

金：人の工場に働きに通った。

——旦那さんが工場を持っていらしたのではなく？

金：その腕がよかったから。来てくれと言って。

——お母さん [春海さん] は仕事、もう一度こっち来てから？

金：私こち来てから、登録つくって、ミシン屋行って。あくる日からミシン行って、ミシン習て、つかかけ始まって、何十年間。

——ヘップ [サンダル] ですか？

金：ヘップ。ヘップ全部やりますよ、私。初めてヘップやって、旦那さん亡くなったから、職人 [に] も悪いけど、みな辞めてくれや言うて。20万ずつ渡して辞めてもろて。私一人、一人で働きながら、1ヵ月に約50万円ずつ稼いだ。1ヵ月で一人で。仕事の請求書を書いて送ったら、「これ、お母さんが一人でやったの？」「いいえ、夜はアルバイト使ってやった」と言った。嘘言って。仕事が終われば2時だよ。

——それはどこでやったんですか？ 大友町？

金：そう、大友町。今住んでるところ。

——7年の差があるから、旦那さんが先来て大瀬町に住んで、中崎町に働きに行つて。お母さん [春海さん] が35歳で来てからは、大友町で一緒に暮らした？

金：そうそう。うち初めて来たときは、日本、テレビもなかった。公園にな、公園にあつて、晩になったらテレビ見に行こ言うて。公園に1台だけ置いて。

——布施，三ノ瀬公園？

金：三ノ瀬公園。あれからヘップも忙しかったもんな。で，4，5年前からみんな中国や。今仕事あれへん。

——いくつまでやってはったんですか，仕事？

金：80まで。

——どこの社長のところでやってたん？

金：ダイチの仕事。ヘップの会社あるでしょ。

——その社長さんは済州<sup>チェジュ</sup>の人？

金：社長さんは陸地の人。今もやってる。たまに前通ったら、「あ、お母さん元気やな」。「仕事あったらやります」言うたら，笑うねん。

——ミシン習うのはどうやって思いついたんです？ 周りの人を見てとか，周りの人から教えてもらってとか。

金：よその家，教えてもらいに行つてん。ミシンは前からやるからな。

——旦那さんもヘップ？

金：そうそう。

### 《夜学での学び》

——夜間中学校は通われましたか？

金：はい。夜間，夜間。空堀いうとこ<sup>1)</sup>。玉造から向こう，空堀いうとこ，夜間。10年間通う。仕事して7時に終わって，学校行って勉強して帰って来たら10時。

---

1) 後日，再確認したところ，金春海さんは夜間中学ではなく，7歳から15歳まで空堀小学校に夜間通っていたとのことであった。

——大変ですね。

金：大変でした。今考えたらぞっとする。

アイゴー、今考えたら日本語でもちょっと学校通えばよかったのに、文字分からなかったら生きられる世の中じゃない。昔、夜の夜学10年通ったけど、3巻、4巻、5巻まで習った。そしたら5巻習っても小学校出たのと同じことや。3巻になればハングルで全部漢字。

——何巻まで、教科書は？

金：1巻、2巻、3巻、4巻、5巻、5巻まで。そしたら6学年出たのと同じことや。全部漢字。漢字、韓国語、漢字もよく知っているけど、もう忘れてしまって、書けもしない。書けもしないよ。日本の病院に行ったら、名前書けて言われたら、韓国人は女たちは勉強しなかったと、文字分からないと言って……。このあいだ眼の病院に行って、名前書いたら、ああ、勉強しましたかって。「勉強しました、私。中学校出ました」と言ったの(笑)。

——夜間中学校？

金：はい。最近勉強しなかったと言ったら笑う、笑う。人に恥ずかしくて。でも年寄りたちはハングル分からない。私、木曜日、金曜日に老人亭\*<sup>12</sup>に行くんだけど、文字が出てても分からない。歌も歌えない。ハングル勉強したかといえば、「昔すこし勉強した」。

——ここじゃなくて他の老人亭、近所の？

金：老人亭？ 老人亭はみんな韓国のハルモニたち。みんな韓国……。日本の老人亭もあるし。日本……韓国、老人亭だけど、若者たちが運転してくれて、乗せて行って連れて行って。みんな日本人。どうしてこんな年寄りなのに……みんな年寄り好きやから。

《故郷とのつながり》

——ここ日本に来てですね、総連とか、民団とか、そういった活動することは考えてみませんでした？

金：私、来てみたら、故郷から来てみたら、村、みんな、総連。はあ、来てみたら、ここに来てみて住んで、北朝鮮に行きなさい。北朝鮮に行けば家もくれるし、服もくれるし、

他のものも全部くれるって。うちの村の人たち、みんな行った。私たちが住んでいる[間借りしていた]家の人も5人の家族が全員行った。

—北へ行く考えはなかったです？

金：ううん。いや、分からない、私も行くかもしれないけど、母連れていかなくちやいけないでしょ。行くなら、故郷に、済州島月坪に行くと。そうして、途中で、私、約……10年後に行けば、韓国に登録変えた。

—韓国に？

金：韓国の登録に。最初来たときは、全部、北朝鮮[朝鮮籍]。北朝鮮の人になってたんだ。うちの母さんも北朝鮮のおばあさんになってた。私が持って行って取り下げた。[私が]「なんで北朝鮮にしたの？」[と、尋ねたら、母が]「村の人達がみんなこうするのを、私だけ、そしたら外れられる？」(笑)

—日本に来て4・3のことを話しましたか？

金：あんまりしゃべってない。しゃべったって分かれへんもん。しゃべってたら、故郷に行ってそんな……。北朝鮮にみんな一緒に行くと大騒ぎだよ。北朝鮮、行かない。

—土地は、全部自分の土地？

金：うん。ほとんど売ってもうた[売ってしまった]。子供にもやってしまったし。

—<sup>ウォルピョン</sup>月坪、去年行きましたよ。今はハウスがいっぱい、ミカンとか花。

金：そうそう。성<sup>ソン</sup>[済州方言で、やや年長の親しい親戚を指す。金春海さんの場合は夫の弟]がおるねん。<sup>ウォルピョン</sup>月坪に。あの子も日本に来て、10年位住んで帰って。

—それはどなたですか？

金：親戚の子。

—密航の後に初めて<sup>チェジュド</sup>済州島に帰られたのはいつですか？

金：「お義母さん、私日本に行って1ヵ月、母に会ってきます」と言って、母に会いに行くのを口実に日本に来たけど、戻らなかった。それでおばあさん、姑が生きてた時に数年前に行ってきた。生きてるときに行ったから、姑、ものすごい泣きながら、「行くな、

行くな」「わし、いじめたから、お前日本行って、帰ってこないと思った」。謝ってくれた。みんな忘れた。

——<sup>シアボジ</sup>舅さんはいたんですか？ <sup>シアボジ</sup>舅さんは？

金：<sup>シアボジ</sup>舅は嫁に行ったときおったし。あれから<sup>シアボジ</sup>舅も呼んで、観光させて、<sup>シオモニ</sup>姑も呼んで観光させて、うちが工場していたところに。やるべきことは全部やってる（笑）。

——<sup>チエジュド</sup>濟州島にはよく帰られますか？

金：毎年行ったけども、2、3年は帰ってないな。去年は行ってきたけど。また行きたい、元気になったら。私ね、今60歳やったら、くに帰って、あんたらと同じ仕事やりたいわ、ほんま。

——<sup>オモニ</sup>お母さん [春海さん] が4・3の後に来て、その後初めて<sup>チエジュ</sup>濟州に帰ったのは？

金：それは3年に1回は必ず行った。娘おるもん。

——登録できたら割と [行きやすくなった] ？

金：そう。行ったり来たりできる。

——次女さんは<sup>シオモニ</sup>姑さんが育てて？

金：そうそう。育てて結婚させてくれて。ほんで<sup>ソギボ</sup>西帰浦住んで。去年も来て帰った。毎年来たり行ったり。

——ミカンとかしてはるんです？

金：ミカンしないけど、うちら土地大きな、1600坪二つやったから。400万ずつ毎年もらって、お母ちゃんより楽や、あいつら。

——それは仕送りで？

金：ううん、向こうで土地やったからな。ぜんぶ賃貸して、賃貸ししながら。何かしたから、ハウスやったか知らんけど。今は歳いってアホなったけど、若いときは金持ちみたいに言われたんですよ。

\* 本研究は科学研究費補助金（課題番号21330119）の助成を受けたものである。

## 【用語解説】

### \* 8 城（再掲）

4・3事件勃発後、住民には遊撃隊との連絡を遮断する目的で、集落の周囲に石垣を積むなどの強制労役が義務づけられ、完成後にはその護衛の任務を負わされた。とくに警察・右翼などの迫害を避け、漢拏山に身を隠したのち「投降」した住民たちは、「暴徒」嫌疑者として迫害され、しばしば城壁建造やその護衛などの苦役を課せられることになった。

### \* 9 3・1節発砲事件（再掲）

1947年3月1日、済州市で開催された3・1節28周年記念大会終了後、街頭デモに繰り出した群衆に対して警察が観徳亭広場で発砲し、6名が死亡、また負傷者の運ばれた道立病院でも理性を失った警察官が無差別乱射し、一般市民が重傷を負う事件が起こった。米軍政と済州島民衆運動勢力の対立を深刻化させたこの事件は、4・3事件勃発への導火線の役割を果たすことになった。

### \* 10 自首して軍隊に行く

4・3当時に右翼団体や軍・警察から迫害されたり、武装隊への支援の疑いを持たれたりした若い男性たちにとって、軍や警察に積極的に参加することは身を守るために有効であった。そのために自ら出頭し、軍や警察にたいする協力の意思表示をすることをここでは「自首」と言っている。また、海兵隊3～4期は韓国軍が洛東江以南に追い詰められた時期に済州島で編成され、その一部は1950年9月15日の仁川上陸作戦に参加することになる。ここに金春海さんの従弟のような経緯で入隊した人も加わっていたと考えられる。

### \* 11 韓国からの調査

2000年の「済州4・3真相糾明および犠牲者名誉回復に関する特別法」施行による真相糾明事業の一環としての聞き取り調査であると思われる。一連の調査結果は『済州4・3事件真相調査報告書』として2003年に発刊され、この報告に基づいて当時の盧武鉉大統領が事件に対する国家の責任を認め、公式謝罪した。

### \* 12 <sup>ノインジョン</sup>老人亭

韓国では集落・町内・団地など居住地域ごとに「老人亭」という名の共同スペースがあり、昼間などに高齢者が集まり談笑する場所となっている。日本で言う「高齢者集会所」であるが、一方在日コリアンの高齢者たちは、自分たちが通うデイケアセンターを指して「老人亭」とよんでおり、ここでは後者の意味で用いられている。なおこのインタビューは大阪市生野区のある社会福祉団体の一室で行われ、金春海さんはこの団体の運営するデイケアセンターに通っている。

## 訂正

「解放直後・在日済州島出身者の生活史調査（7・上）——玄璣玫さんへのインタビュー記録——」『大阪産業大学論集 人文・社会科学編』第6号（2009年6月）の記述に一部間違いがありました。お詫びして訂正いたします。

頁	行	誤	正
90	22	校長	副校長
95	14	汽車	電車
96	5	そうやねえ、どれくらいいたかな。そんな長くいなかったけれども。	（削除：広島には滞在せず，通過しただけだった）
98	21	オンケン	オンピョン 温坪
99	8	お母さんも殺されはったけどね。	（削除：「お母さん」は殺害されなかった）